

今週（9月4日から9月8日）の短期金融市場動向

●インターバンク市場

今週の無担保コールO/N物は、引き続きレートは低水準での推移となった。週前半は、一部邦銀から積極的な運用が見られた事で、加重平均レートは、4日(月)の▲0.069%から始まり、6日(水)には▲0.076%まで低下した。その後は運用ニーズが後退した事で、レートの低下は収まり上昇に転じたものの、ビッドサイドの調達ニーズもやや後退した事から、大きく上昇する展開には至っていない。
ターム物は、O/Nと同様に低めのレートで推移しており、ショートタームを中心に引き合いが見られた。

日銀当座預金残高は、普通交付税の支払いが行われたものの、税揚げや国債の発行を主因に前週から減少し、540兆円前後での推移となった。

●レポ市場

今週のGC T/N物は▲0.12～▲0.09%で推移する展開となった。国債入札が4件行われたこともあり、週を通してオフアー優勢のマーケットとなった。

SC取引の個別銘柄では、2Y438～451回、5Y150～160回、10Y355～371回、20Y175～185回、30Y65～79回、40Y10～16回などで引き合いが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、横ばい圏での推移となった。

5日に実施された短国買入オペは、前回と同額の1,000億円でオフアーされ、按分利回較差+0.008%、平均利回較差+0.008%と、やや弱めの結果となった。

7日に実施された6M物入札は、テールの流れる結果となったが、結果発表後のセカンダリーマーケットでは小じっかりと推移した。8日に実施された3M物入札は、無難な結果となり、結果発表後のセカンダリーマーケットでは落ち着いた展開となった。

●CP市場

今週のCP市場は、発行件数が少なく、不動産、石油業態等からまとまった発行が行われたものの、週間の発行総額5,100億円に対して、償還総額7,200億円と償還超のマーケットとなった。

市場残高は、引き続き27兆円台前半で推移している。

発行レートは、日銀適格担保銘柄の3M以内の案件については0%近辺での出合いが中心となったが、期間が長い案件については引き続きレート水準にばらつきがみられた。

CP等買入オペは、8日(金)に事前予定通り4,000億円でオフアーされた。結果は、按分レート▲0.003%、平均落札レート+0.008%と前回比(按分▲0.005%、平均+0.001%)で按分レート、平均落札レートともに上昇した。

●短期金融市場関連指標

	日経平均 (円)	新発10年物 国債利回り (%)	為替 (ドル/円中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート(翌日物・ T+1スタート・%)	日銀当座預金残高 (億円)
9/4 (月)	32,939.18	0.640	146.21	△ 0.069	△ 0.114	5,414,100
9/5 (火)	33,036.76	0.655	147.00	△ 0.072	△ 0.115	5,426,200
9/6 (水)	33,241.02	0.650	147.80	△ 0.076	△ 0.109	5,405,300
9/7 (木)	32,991.08	0.655	147.84	△ 0.072	△ 0.106	5,402,300
9/8 (金)	32,606.84	0.645	146.90	△ 0.066	△ 0.098	5,391,400

来週（9月11日から9月15日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定	海外主要経済指標
9/11 (月)	8月のマネースtock(日銀 8:50)		
9/12 (火)		5Y 25,000億円 9/13発行	
9/13 (水)	8月の企業物価指数(日銀 8:50) 7-9月期の法人企業景気予測調査季報 (内閣府・財務省共管 8:50)		8月の米消費者物価指数 8月の米財政収支
9/14 (木)	7月の機械受注統計(内閣府 8:50)	20Y 12,000億円 9/15発行	ECB定例理事会(金融政策発表) 8月の米生産者物価指数 8月の米小売売上高 7月の米企業在庫
9/15 (金)	7月の第3次産業活動指数(経済産業省 13:30) 7月の石油等消費動態統計(経済産業省 13:30)	TB3M 56,000億円 9/19発行	8月の米鉱工業生産・設備稼働率 9月のミシガン大消費者信頼感指数速報

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
9/11 (月)	1,000	8,400	9,400	国債買入 国債補完 CP買入 社債買入		17,500	41,500	50,900	TB3M発行▲56,000償還62,000 TB6M発行▲40,000償還45,000 10Y物価 償還1,700
9/12 (火)	600	▲2,000	▲1,400				0	▲1,400	
9/13 (水)	500	▲33,000	▲32,500	CP買入 全店共通		4,000	▲4,800	▲37,300	源泉税揚げ 社会保障費払い 5Y発行▲25,000
9/14 (木)	▲1,000	▲2,000	▲3,000				0	▲3,000	
9/15 (金)	1,000	▲13,000	▲12,000	貸出増加支援		▲13,000	▲13,000	▲25,000	個人向け3Y・5Y・10Y▲2,900 個人向け3・5Y償還800 20Y発行▲12,000
週間合計	2,100	▲41,600	▲39,500	—	2,200	21,500	23,700	▲15,800	

9/11は日銀予想、9/12以降は当社予想

●短期金融市場の見通し

インターバンク市場は、積みの進捗に目途が付き始めている先が多いと思われるが、14日(木)までは、最終調整による一定の調達ニーズが見込まれる事から、レートは横這い水準での推移が見込まれる。しかし、15日(金)は週末となり、来積み期にかかる取引となるため、レートの低下が予想される。債券レポ GC T/N物は、積み期終盤になるため、オファーサイドの資金調達ニーズ次第では、レートが▲0.10%を上回る展開も想定される。短国市場は、15日に3M物の入札実施が予定されている。また、12日に実施が予想される短国買入オペは、1,000億円程度が見込まれる。CP市場は、9月末を控え、期越え案件がどの程度膨らむか注目される。

主要なイベントは、国内では13日に8月の企業物価指数、14日に7月の機械受注統計、海外では、13日に8月の米消費者物価指数、14日にECB理事会、8月の米小売売上高などの発表が予定されている。

- ◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
- ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等を負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。